

五省

一 至誠に情るなりしか
 一言行に馳るなりしか
 一 氣力にたるなりしか
 一 努力に憾みなりしか
 一 不精に怠るなりしか

五省会ニュース

発行所
 特定医療法人五省会西能病院
 〒930 富山市五福1130
 TEL (0764) 41-2481(代)
 発行人 西能 正一郎

(財)日本医療機能評価機構に当院の機能評価審査を依頼

地域により愛される病院を総点検



健康事業部で説明を受ける日本医療機能評価機構の調査チーム

開院二十五周年を機に 病院全体のレベルアップを

西能病院は、(財)日本医療機能評価機構に評価審査を依頼、このほど訪問審査を受けた。県内で審査を受けたのは当院と塚本病院(富山市住吉町)の二病院だけで、改善点を明らかにすることで、医療機能のレベルアップをはかるのが目的だ。

病院機能評価審査は約百数十項目を審査対象とする厳しいもので、書面審査と訪問審査の二段階で実施。各項目を五段階で評価し、全項目が三以上の場合は、約三カ月後に認定証が発行される。病院機能上で必要な改善点も明らかにされるため、当院は三十五周年を機に財団法人日本医療機能評価機構に審査を依頼。同機構から六月二十四日に評価調査者が派遣された。

訪問審査は医師、看護婦、事務経験者で病院機能を客観的・学術的に評価・判定する三人の専門家チームで、午前九時から行われた。午前中は西能院長、渡辺事務部長、坂倉看護部長らが面接。病院の概要について説明し、資料・文書などの確認を行った。

その後、昼食休憩をはさんで午後一時十五分より、坂倉部長と渡辺部長の案内で十四部署を対象に、部署訪問を開始した。

調査チームは、まず玄関や待合室の雰囲気、センターや手術・麻酔部門における、当院の最新医療設備に注目を集めていた。

また部署訪問でもっとも審査に時間をかけたのが病棟で、注射針や使用済みガレージなどの処理方法、週四回以上の回診が行われていくかなどをチェック。担当者だけでなく、書類上でも念入りな確認がとられた。

評価調査者らに好評だったのが、病室の明るさやトイレの広さ、大浴場の家庭的な雰囲気。

薬局では服薬指導について質疑が交わされたほか、エレベーターの位置や通路案内表示の見やすさなども点検し、訪問審査は午後三時半で終了した。

西能院長の話

開院二十五周年を機に、これまで当院がやってきたことが全国レベルでいえるほどの程度の評価になるのかを知るために、審査を依頼した。評価によって、どう病院を改善し、また地域の皆さまや患者さまの対応に評価をどのように反映させるかが、大切な課題だと思ふ。

渡辺事務部長の話

病院機能評価審査を受けたことは、院内の各分野での書面整備や日常業務の見直しを行う良い機会になった。評価結果は、今後の運営に活かしていきたいと考えている。



病棟ナースセンターで看護記録の説明を

患者満足推進会議の活動

西能 竝

昨年の夏、全国規模の入院患者アンケートが行われ、当院もそのアンケートを受けた。秋になって、その結果報告書が送られてきた。その結果はいくつかの項目で意外にも決して良い評価ではなく、全国にはもっと上位の病院が数多く存在することを知らされ、私たちは愕然とするとともに、早急な整備改善の必要に迫られた。

サービスに徹すること、ハード・ソフト両面について改善策を

準備もこの委員会の仕事に加わった。このようにならざるを得ない。メンバーの努力と団結のもとに、着実に進行し、当初に取り上げたテーマはすべて検討を終え、本年六月末にて推進会議を解散とし、従来の本部会議と、業務推進委員会を継続することとした。

早速平成八年十二月三日患者満足推進会議を発足させた。統轄責任者は、院長の私で、中央委員会は渡辺事務部長を委員長に五名、又企画委員会は上田委員長以下八名にて組織された。

まずは全職員へのアンケート説明会を行ったことは、サービスに徹することである。

六カ月余りの患者満足推進会議の活動で感じたことは、サービスに徹することである。

開、意見箱の整備、病院の安全性と危機管理、患者プライバシーの配慮など、ハード、ソフト両面について改善策を検討した。

すでに、実施の指示をしたものもあるが、これからは順次新たな方針を示して、病院が変わるよう真剣に取り組んでいきたいと思ふ次第である。

財団法人 日本医療機能評価機構について

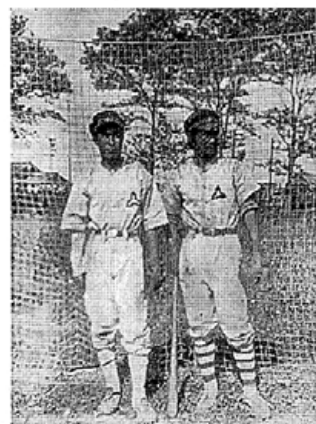
(財)日本医療機能評価機構(東京都中央区)は、厚生省や日本医師会などが平成七年に設立した第三者機関。病院の自己努力を促すために、専門家による中立的な評価活動を今年度からスタートさせた。病院機能評価については、病院や診療所などの医療施設が「医療の質」を客観的に評価して、患者に情報を提供していくことがねらい。

評価対象領域は、①病院の理念と組織的基盤、②地域ニーズの反映、③診療の質の確保、④看護の適切な提供、⑤患者の満足と安心、⑥病院運営管理の合理性について

の六つ。病院機能についての体系的な審査により、優れている点と改善すべき問題点が具体的に示される。そのため、病院にとっては的確な取り組みが可能となり、また効果的な医療の質の向上とサービス改善につながるという。

あすなろ

今春の富山医療大の入試に「コラム季寄せ」(兼久文治著、北日本新聞社刊)の中の「母さん、返事をして」が出題された。この文は「年よりは言葉がほしいの」という六十二歳の女性の詩にはじまり、近ごろの子供は用語が貧弱だが、それ以上にひどいのが母親。これでは母子の会話は成立しないという内容。入試の問題は、この文を参考にして「会話の人間関係に及ぼす影響」について四百字以内でまとめたさいというもの。出題者が医療大だから、ピンとくるのは医療のインフォームド・コンセント(医師の十分な説明と、患者の同意、納得)問題。ある新聞の医療に関する世論調査でも「不満なこと」の第一は「薬漬け」二位は「患者への説明不足」となっているから設問の意図もおおよそ了解できる。それにしても最近の会話不足は、なにも医療現場に限ったことではない。家庭も職場も学校も社会も、人と人とのコミュニケーション不足が深刻化している。とくに若者の間に目立つが、それに拍車をかけているのが日常生活の自動化、コンピュータ化、ビデオやテレビゲームの流行などだろう。引きこもり文化」という新語があるが、いわば「おたく文化」化。核家族化以来「わすれられない人間関係の切り捨て」を続けてきた日本。それが青少年の無気力と情緒不安の元凶といえは過言だろうか。



昭和21年頃の稲垣さん(左) 青春時代の思い出の写真



白球を追いかける野球少年でした

医療法人五省会評議員 稲垣 忠一

わたしの青春時代

私の青春時代は、野球を放りたは語れませんが、旧制高岡中学校ではピッチャーを、旧制富山高等学校ではサードを守っていました。

富山高等学校野球部の練習は相当厳しいものでしたが、私は新濤育ちで、砂浜で毎日遊んでいて足腰が丈夫でした。長距離マラソンだって、百本ノックだって平気でした。

富山高等専門学校時代の練習は相当厳しいものでしたが、私は新濤育ちで、砂浜で毎日遊んでいて足腰が丈夫でした。長距離マラソンだって、百本ノックだって平気でした。

富山高等専門学校時代の練習は相当厳しいものでしたが、私は新濤育ちで、砂浜で毎日遊んでいて足腰が丈夫でした。長距離マラソンだって、百本ノックだって平気でした。

富山高等専門学校時代の練習は相当厳しいものでしたが、私は新濤育ちで、砂浜で毎日遊んでいて足腰が丈夫でした。長距離マラソンだって、百本ノックだって平気でした。

富山高等専門学校時代の練習は相当厳しいものでしたが、私は新濤育ちで、砂浜で毎日遊んでいて足腰が丈夫でした。長距離マラソンだって、百本ノックだって平気でした。

富山高等専門学校時代の練習は相当厳しいものでしたが、私は新濤育ちで、砂浜で毎日遊んでいて足腰が丈夫でした。長距離マラソンだって、百本ノックだって平気でした。

富山高等専門学校時代の練習は相当厳しいものでしたが、私は新濤育ちで、砂浜で毎日遊んでいて足腰が丈夫でした。長距離マラソンだって、百本ノックだって平気でした。



「車椅子生活も覚悟した」と草間さんと草間さん。夢は北海道旅行だ。

大地を踏み

日常生活のすべてがハリハビリ

草間孝之さん(富山市中町・八〇)の毎朝の日課は、近くの稲荷公園での散歩。早朝五時から約一時間、たつぷり歩くそうです。

草間さんが西能病院の救急車で緊急入院したのは、平成七年八月三十日のこと。朝、何度か歩いても返事をしないので、草間さんが不思議に思い様子を見に行くと、草間さんが寝ていました。

草間さんが西能病院の救急車で緊急入院したのは、平成七年八月三十日のこと。朝、何度か歩いても返事をしないので、草間さんが不思議に思い様子を見に行くと、草間さんが寝ていました。

草間さんが西能病院の救急車で緊急入院したのは、平成七年八月三十日のこと。朝、何度か歩いても返事をしないので、草間さんが不思議に思い様子を見に行くと、草間さんが寝ていました。

草間さんが西能病院の救急車で緊急入院したのは、平成七年八月三十日のこと。朝、何度か歩いても返事をしないので、草間さんが不思議に思い様子を見に行くと、草間さんが寝ていました。

草間さんが西能病院の救急車で緊急入院したのは、平成七年八月三十日のこと。朝、何度か歩いても返事をしないので、草間さんが不思議に思い様子を見に行くと、草間さんが寝ていました。

草間さんが西能病院の救急車で緊急入院したのは、平成七年八月三十日のこと。朝、何度か歩いても返事をしないので、草間さんが不思議に思い様子を見に行くと、草間さんが寝ていました。

予防医療と最新設備に関心



体力測定室を見学する一行

奥様社会見学

「富山新聞主催」の一行四十四人が、六月二十二日午前十一時より、西能病院を訪問した。

次いで坂倉看護部長が「家族の健康管理の要として、お母さん自身も健康であることが大切。当院の見学を通して看護の意義を考えた」と呼びかけた。

「富山新聞主催」の一行四十四人が、六月二十二日午前十一時より、西能病院を訪問した。

「富山新聞主催」の一行四十四人が、六月二十二日午前十一時より、西能病院を訪問した。

栄養部と外来内科が栄養食事指導を実施

患者さん同士 和気あいあいと



カロリーとバランスを考えたメニューを考案した参加者たち

栄養部と外来内科では糖尿病や高脂血症、高血圧患者さんに対して栄養指導やグループ指導など、患者さん同士の交流の場として好評だ。

第一回の栄養食事指導は、「糖尿病の食事療法について」の講義を、五月二十四日に実施。第二回はより実践的なバイキング形式の指導を、六月二十八日午前十一時三十分から五階ホールで行った。

栄養部と外来内科では糖尿病や高脂血症、高血圧患者さんに対して栄養指導やグループ指導など、患者さん同士の交流の場として好評だ。

栄養部と外来内科では糖尿病や高脂血症、高血圧患者さんに対して栄養指導やグループ指導など、患者さん同士の交流の場として好評だ。

栄養部と外来内科では糖尿病や高脂血症、高血圧患者さんに対して栄養指導やグループ指導など、患者さん同士の交流の場として好評だ。

栄養部と外来内科では糖尿病や高脂血症、高血圧患者さんに対して栄養指導やグループ指導など、患者さん同士の交流の場として好評だ。

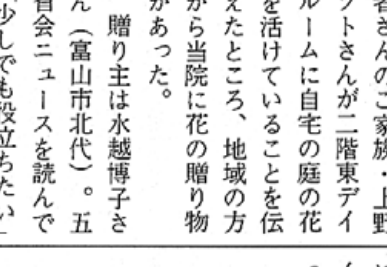
栄養部と外来内科では糖尿病や高脂血症、高血圧患者さんに対して栄養指導やグループ指導など、患者さん同士の交流の場として好評だ。

栄養部と外来内科では糖尿病や高脂血症、高血圧患者さんに対して栄養指導やグループ指導など、患者さん同士の交流の場として好評だ。

栄養部と外来内科では糖尿病や高脂血症、高血圧患者さんに対して栄養指導やグループ指導など、患者さん同士の交流の場として好評だ。

栄養部と外来内科では糖尿病や高脂血症、高血圧患者さんに対して栄養指導やグループ指導など、患者さん同士の交流の場として好評だ。

季節感いっぱい 花の贈り物



病棟の食事内容にも注目が集まった

五省会ニュースを讀んで地域の方から先号の五省会ニュース(平成九年五月二十六日発行)で、入院患者さんのお家族・上野ノトさんが二階東デイルームに自宅の花を花を活けているのを伝えたと、地域の方から当院に花の贈り物があつた。

五省会ニュースを讀んで地域の方から先号の五省会ニュース(平成九年五月二十六日発行)で、入院患者さんのお家族・上野ノトさんが二階東デイルームに自宅の花を花を活けているのを伝えたと、地域の方から当院に花の贈り物があつた。

五省会ニュースを讀んで地域の方から先号の五省会ニュース(平成九年五月二十六日発行)で、入院患者さんのお家族・上野ノトさんが二階東デイルームに自宅の花を花を活けているのを伝えたと、地域の方から当院に花の贈り物があつた。

五省会ニュースを讀んで地域の方から先号の五省会ニュース(平成九年五月二十六日発行)で、入院患者さんのお家族・上野ノトさんが二階東デイルームに自宅の花を花を活けているのを伝えたと、地域の方から当院に花の贈り物があつた。

五省会ニュースを讀んで地域の方から先号の五省会ニュース(平成九年五月二十六日発行)で、入院患者さんのお家族・上野ノトさんが二階東デイルームに自宅の花を花を活けているのを伝えたと、地域の方から当院に花の贈り物があつた。

「朝食は軽く 朝食をしっかりとります」

「朝食は軽く 朝食をしっかりとります」

「朝食は軽く 朝食をしっかりとります」

「朝食は軽く 朝食をしっかりとります」

「朝食は軽く 朝食をしっかりとります」

研究は趣味



「貼付剤を開発されるまでにはいろいろな苦労があったという」と西能理事長

「貼付剤を開発されるまでにはいろいろな苦労があったという」と西能理事長

「貼付剤を開発されるまでにはいろいろな苦労があったという」と西能理事長

のようなもの

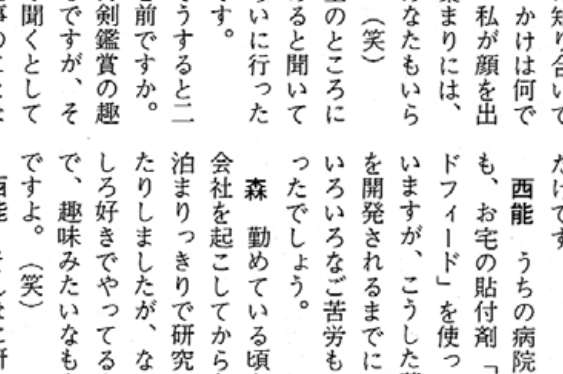


「どうして薬学部へと思いたったわけではないですが、」と森政雄氏

「どうして薬学部へと思いたったわけではないですが、」と森政雄氏

「どうして薬学部へと思いたったわけではないですが、」と森政雄氏

いまを生きる

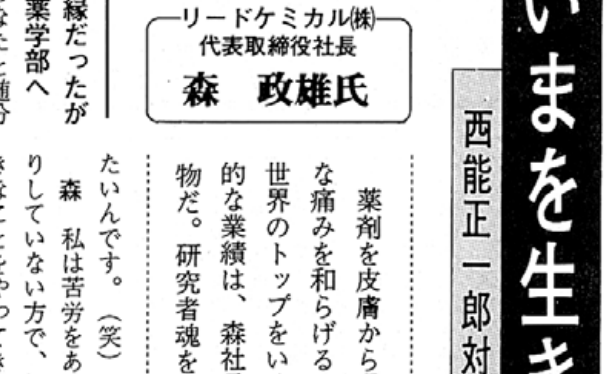


「貼付剤を開発されるまでにはいろいろな苦労があったという」と西能理事長

「貼付剤を開発されるまでにはいろいろな苦労があったという」と西能理事長

「貼付剤を開発されるまでにはいろいろな苦労があったという」と西能理事長

研究者の目



「貼付剤を開発されるまでにはいろいろな苦労があったという」と西能理事長

「貼付剤を開発されるまでにはいろいろな苦労があったという」と西能理事長

「貼付剤を開発されるまでにはいろいろな苦労があったという」と西能理事長

西能正一郎対談シリーズ

西能正一郎対談シリーズ

西能正一郎対談シリーズ

西能正一郎対談シリーズ

愛される病院を めざして

地域住民の医療に関する意識調査から

西能病院広報委員会
が富山市五福、桜谷、
神明地区の七百七十人
(うち女性四百四十三
人)から回答があった
アンケート(無記名)
十六問のうち主な結
果と考察。カッコ
内は女性

自宅や職場に近い 病・医院を選ぶには 信頼できるから

①自宅や職場(学校)に近いから四百四十五人(二百五十三人)
②信頼できるから二百二十六人(百四十一人)
③人から聞いて評判が良いから百九十八人(百二十七人)
④休日や夜間も診療しているから百三十人(六十五人)
⑤交通の便がよいから百二十九人(八十一人)
⑥大きい病院だから百十一人(五十九人)
⑦専門病院だから八十五人(四十一人)
⑧特になし四十一人(二十一人)
⑨入院設備

患者サービスにとっ
て、接遇は大切な要素



朝礼の ポイント

である。過日の昼下り、
何気なくNHKテレビ
を観ていたら、漫才師
の内海桂子さんのイン
タビューが放映されて
いた。

桂子さんは、コンビ
の好江さんと仕事上の
約束として「二人の服
装がいつもバランスの
とれていることに心掛
ける」と。
理由は「お客様がネ
クタイ姿で芸を見に来
られるのだから自分達
は、きちんと和服姿で
迎えねばならないし、
何時どちらさまから声
が掛かっても対応出来
るよう服装を常に整え
ている」と話しておら
れた。

服装にも細かい心配りを

ればならない。それが
病院を利用された方々
の心を癒されるならば、
病院職員は服装にも細
心の注意を払う事で思
いやりのある看護に繋
がると思う。(看護部
副部長 津田勝美)

病院だより

六月

八日西能理事長が
いこいの村で「ひざの
私達医療人も同様に
ある。多くの人の目が
行き交う病院で、誰が
見ても快い感じを与え
られるように、ユニホ
ームに合った髪型、化
粧、靴等が各々にバラ
ンスよく整っていない

三日職員ら三十八
人が病院玄関前の愛の
献血車(県赤十字血液
センター)で献血。
三日 西能理事長が
大島町公民館で「腰痛
とおつきあい」を講



避難などの
自衛消防訓練
二十六日「午前

新人の抱負

潤いのあるお世話を
今迄の経験を活かし
更に勉強し、潤いのある
お世話が出来れば
努力していきたいです。
(看護部 平岡久海子)

患者さまの立場で
患者さまの立場にな
って、喜んでいただけ
るようなお世話をし
ていきたいと思っています。
(看護部 小松みち代)

思いやりのお世話を
思いやりのお世話を
話し「ありがとう」
の笑顔がみられる仕事
をしたいと思っています。
(看護部 鹿野真知子)

やさしさと親切を
患者さまのお世話は、
やさしさと親切をモツ
ットにして、頑張り
たいと思っています。
(看護部 大島三子)

笑顔と声掛けして
仕事に責任がもてる
ように毎日が勉強です。
患者さまに笑顔と声掛
けしていきたいです。
(看護部 浜野智恵子)

自分なりに努力して
これから学ぶ事が一
杯あるので自分なりに
努力して、精一杯が
ばりたいと思います。
(事務部 高井純一)

七月

六日富山県民会館
で、平成九年永年勤続
医療従事者表彰式。西
能病院の八人が受賞。
十七日五階ホール
で健康教室。西能理事
長が「腰痛について」
二十四日富山市呉
羽中学二年生六人が病
院で体験学習。
二十四日西能理事
長が富山市福寿荘で
地域福祉の現状と展望
を講演。主催は富山
市社会福祉協議会。

診療体制のご案内

通院バスのご案内



休日診療 (日曜日・祝日)	平日診療 (月曜日～土曜日)	通院バスのご案内		
整形外科 午前 8:30 ~ 12:00 午後 4:00 ~ 7:00	整形外科 午前 8:30 ~ 12:00 午後 4:00 ~ 7:00	スポーツ整形外科 水・土曜日 午後 4:00 ~ 7:00	泌尿器科外来 月曜日 午後 1:30 ~ 5:00	人間ドック 日帰りコース 1泊2日コース 2泊3日コース 3泊4日コース (申込先) 健康事業部 8:30~17:30
内科 午前 8:30 ~ 12:00 午後 3:00 ~ 5:00 (火・金曜日は7:00)	内科 午前 8:30 ~ 12:00 午後 3:00 ~ 5:00 (火・金曜日は7:00)	糖尿病外来 火・金曜日 午前 9:00 ~ 12:00	神経内科外来 土曜日 午前 9:00 ~ 12:00	体力測定 月～金曜日 午前10:00 ~ 12:00 午後2:00 ~ 5:00 (申込先) 健康事業部
リハビリテーション科 午前 8:30 ~ 12:00 午後 1:30 ~ 7:00	リハビリテーション科 午前 8:30 ~ 12:00 午後 1:30 ~ 7:00	循環器外来 火・木曜日 午前 8:30 ~ 12:00	麻酔科外来 月・水・金曜日 午前 8:30 ~ 12:00	栄養指導 月曜日～土曜日 午前10:00 ~ 11:00 在宅診療・看護 月・金曜日 午後1:30 ~ 4:00